

秋季彼岸会

並

総永代経法要

兼・墓地納骨(物故者)追弔法要

日時

9月23日(金)午後1時30分

講題

「亡き人に出遇わば空しく生きず」

法話

茨田 通俊師(第6組願光寺住職)

ご講師からのメッセージ

お彼岸は亡き人をご縁として、迷いの世界に生きる私たちが浄土の世界に到ることを願う大切な仏事です。

親しい人を亡くすことは大きな悲しみを伴います。しかしその悲しみが、生老病死といういのちの真実の相を私たちに教えてくれています。この彼岸会の法座において、先んじて命を終えていかれた方々が、身をもって示された事実に向け、そして今も諸仏となって問いかけて下さる声に、静かに耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

どういう境遇を生きなければならないとしても、この与えられたご縁を精一杯生き尽くしていく、限りあるが故にかけがえのない人生を力強く歩んでいくことが、亡き人たちに願われています。まさに亡き人との出遇いがあれば、私たちは与えられた人生を決して空しく過ごすことはないでしょう。